

平成29年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

刑事訴訟法

以下の設問に答えよ。

設問1 犯罪発生前の捜査の可否と限界について論ぜよ。

(50%)

設問2 違法な身体拘束下での取調べによって、任意性に疑いのある自白を獲得した場合の自白の証拠能力を判断する際に適用が可能な二つの証拠法則を説明した上で、それらの証拠法則の適用の仕方はどうあるべきか論ぜよ。(50%)